

報道発表資料の配付日時 2月7日(水) 15時00分

発表項目 (行事名)	第70回北海道広報コンクールの審査結果について																		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者																	
		発表場所																	
概要	<p>本道の自治体等における広報技術の向上に資するため、北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成する広報広聴技術研究会実行委員会では、毎年、「北海道広報コンクール」を実施しています。</p> <p>令和5年に発行・発表された広報紙(誌)、広報写真、映像を対象に、本年1月19日(金)、第70回のコンクール審査会を開催し、各部門の特選及び入選作品を別紙のとおり決定しました。</p> <p>なお、各部門の特選作品は、公益社団法人日本広報協会主催の「令和6年全国広報コンクール」に推薦します。</p> <p>「令和6年全国広報コンクール」の審査結果については、令和6年4月頃、公益社団法人日本広報協会から発表される予定です。</p> <p>○ 第70回北海道広報コンクール特選作品</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 門</th> <th>受賞団体</th> <th>作 品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">広報紙</td> <td>市の部</td> <td>江別市 広報えべつ 10月号</td> </tr> <tr> <td>町村の部</td> <td>ニセコ町 広報ニセコ 8月号</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">広報写真</td> <td>一枚写真の部</td> <td>当麻町 我が郷土 8月号</td> </tr> <tr> <td>組み写真の部</td> <td>栗山町 広報くりやま 8月1日号</td> </tr> <tr> <td>映像の部</td> <td>旭川市</td> <td>旭川市旭山動物園PV</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 第70回北海道広報コンクール応募状況 総数 135点 (前回136点) 応募団体数 57団体 (前回 65団体)</p>			部 門	受賞団体	作 品	広報紙	市の部	江別市 広報えべつ 10月号	町村の部	ニセコ町 広報ニセコ 8月号	広報写真	一枚写真の部	当麻町 我が郷土 8月号	組み写真の部	栗山町 広報くりやま 8月1日号	映像の部	旭川市	旭川市旭山動物園PV
部 門	受賞団体	作 品																	
広報紙	市の部	江別市 広報えべつ 10月号																	
	町村の部	ニセコ町 広報ニセコ 8月号																	
広報写真	一枚写真の部	当麻町 我が郷土 8月号																	
	組み写真の部	栗山町 広報くりやま 8月1日号																	
映像の部	旭川市	旭川市旭山動物園PV																	
参考	北海道広報コンクールは、昭和27年から毎年実施しており、広報広聴技術研究会実行委員会(北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成)が主催しています。																		
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 市町村の優れた広報をより一層奨励するため、入選した広報作品の積極的な報道をお願いします。</p> <p>○ 特選及び入選した作品に係る制作過程等については、それぞれの市町村の広報担当者に取材をお願いします。</p>																		
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	各総合振興局・振興局記者クラブ																	
担当 (連絡先)	広報広聴技術研究会実行委員会事務局(総合政策部知事室広報広聴課) 担当者: 細谷、吉田 TEL ダイヤルイン 011-204-5110 内線 21-354(40492)、21-375(15683)																		

第70回北海道広報コンクール審査結果

1 広報紙（誌）

（1）市の部（応募数 20点）

区分	市名	広報紙（誌）名	備考
特選	江別市	広報えべつ 10月号	全国広報コンクール推薦 (広報紙・市の部)
入選	釧路市	広報くしろ 10月号	
〃	恵庭市	広報えにわ 4月1日号	

（2）町村の部（応募数 35点）

区分	町村名	広報紙（誌）名	備考
特選	ニセコ町	広報ニセコ 8月号	全国広報コンクール推薦 (広報紙・町村の部)
入選	浦河町	広報うらかわ 10月号	
〃	芽室町	総合情報誌すまいる（広報めむろ） 11月号	
〃	美幌町	広報びほろ 10月1日号	
〃	東神楽町	広報東神楽 8月号	

2 広報写真

（1）一枚写真・市町村の部（応募数 43点）

区分	市町村名	広報紙（誌）名	備考
特選	当麻町	我が郷土（広報とうま） 8月号 2～3ページ	全国広報コンクール推薦 (広報写真・一枚写真の部)
入選	新ひだか町	広報新ひだか 9月号 表紙	
〃	根室市	広報ねむろ 11月号 表紙	

（2）組み写真・市町村の部（応募数 25点）

区分	市町村名	広報紙（誌）名	備考
特選	栗山町	広報くりやま 8月1日号 2～3ページ	全国広報コンクール推薦 (広報写真・組み写真の部)
入選	仁木町	広報仁木 10月12日号 2～3ページ	
〃	当麻町	我が郷土（広報とうま） 9月号 3～4ページ	

3 映像（応募数 8点）

区分	市町村名	作品名	備考
特選	旭川市	旭川市旭山動物園PV	全国広報コンクール推薦 (映像の部)
入選	愛別町	百笑の会の挑戦①巨大バルーン（風船）を使ったかまくら作りにチャレンジ！	
〃	美唄市	PAINTING OUR DREAMS OF BIBAI 2023	

第70回北海道広報コンクール応募状況

■ 応募作品数

区分	部門別	応募作品数（点）			備考
		今回	前回	増減	
広報誌（紙）	市の部	20	17	3	
	町村の部	35	35	0	
	政府機関・団体の部	0	0	0	
	計	55	52	3	
広報写真	一枚写真（市町村の部）	43	45	▲ 2	
	〃（政府機関・団体の部）	0	0	0	
	組み写真（市町村の部）	25	24	1	
	〃（政府機関・団体の部）	0	0	0	
	計	68	69	▲ 1	
映像		8	11	▲ 3	
ウェブサイト		1	2	▲ 1	事前審査なし
広報企画		3	2	1	事前審査なし
合 計		135	136	▲ 1	

■ 参加団体数

区 分	今回	前回	増減	備 考
市	21	20	1	
町村	36	45	▲ 9	
政府機関・団体	0	0	0	
計	57	65	▲ 8	

第70回北海道広報コンクール特選作品

1 広報紙

(1) 市の部

①作品名	広報えべつ 10月号 (令和5年10月1日 江別市発行)	
②連絡先	江別市企画政策部広報広聴課 電話：011-381-1009	
③ホームページ	https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/koho/120961.html	



【作品講評】

- ・ LGBTQ+の基礎知識から、当事者と支援者の声、自治体のパートナーシップ宣誓制度の解説までが網羅され、体系的な知識と気づきを与える内容となっている。表紙は、LGBTQ+のレインボーフラッグを想起させる優れた構図で、特集内容との相乗効果が大きい。ヤングケアラーに関する企画も、市民への啓発、当事者支援の大きな力になる内容である。
- ・ 地域で活動する方のインタビューや、市が導入しているパートナーシップ宣誓制度の紹介など、江別という自治体の特徴が非常に良く伝わる内容である。



(2) 町村の部

①作品名	広報ニセコ 8月号 (令和5年8月1日 ニセコ町発行)	
②連絡先	ニセコ町企画環境課 電話：0136-44-2121	
③ホームページ	https://www.town.niseko.lg.jp/koho_niseko/r5/r0508/	



【作品講評】

- ・ 多発する鳥獣被害への地域の対応を掘り下げた意義の大きい特集。見開きごとのストーリー展開もすばらしく、レイアウトはすっきりしていて読みやすい。
- ・ 数字の説得力が大きく、グラフ化で理解が進む。文章は簡潔でわかりやすく要点を的確にまとめている。
- ・ グラフが見やすく、レイアウトが非常に上手い。とてもよくまとまっている。



2 広報写真



(1) 一枚写真

①作品名	我が郷土 8月号 2～3ページ (令和5年8月10日 当麻町発行)	
②連絡先	当麻町情報発信戦略課 電話：0166-84-2111	
③ホームページ	http://town.tohma.hokkaido.jp/kouhou/	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 見事なポートレートで、心打たれる。カメラの設定も見事である。 ・ 背後にずらりとならんだカメラと女性。一枚でこの女性の人生を雄弁に物語っている。 		



(2) 組み写真

①作品名	広報くりやま 8月1日号 2～3ページ (令和5年8月1日 栗山町発行)	
②連絡先	栗山町総務課 電話：0123-73-7501	
③ホームページ	https://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/site/koho/23190.html	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ レイアウトが見やすく素晴らしい。記録としてもしっかりしている。 ・ WBC優勝の歓喜、栗山監督と町のつながりがよくわかる写真企画である。 		



3 映像

①作品名	旭川市旭山動物園PV	
②連絡先	旭川市総合政策部広報広聴課 電話：0166-25-5370	
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=7pXuil3I1hs	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 命のメッセージが良く伝わる洗練された映像である。 ・ 映像がとても綺麗で「命」のコンセプトが明快である。 ・ 動物の姿とともに、四季の自然を取り込んだ美しい作品で、動物園は何のために存在しているのかという根源的な問いにも答える内容である。 		



第70回北海道広報コンクール入選作品

1 広報紙

(1) 市の部

①作品名	広報くしろ 10月号 (令和5年10月1日 釧路市発行)	
②連絡先	釧路市総合政策部市民協働推進課 電話：0154-31-4504	
③ホームページ	https://www.city.kushiro.lg.jp/shisei/kouhoukouchou/1003572/1003589/1010746/1012926.html	



【作品講評】

- ・ タブloid版の特徴がうまくいかされた編集とデザイン、全ページカラーでありながら無駄がなく、読みやすく心地良い。表紙も写真も魅力的である。
- ・ 姉妹都市交流について2都市を対照的に読めてわかりやすい。

①作品名	広報えにわ 4月1日号 (令和5年4月1日 恵庭市発行)	
②連絡先	恵庭市企画振興部広報課 電話：0123-33-3131	
③ホームページ	https://www.city.eniwa.hokkaido.jp/kurashi/shiseijoho/koho_kochu/kohoeniwa/3/kouhoueniwa2023nen/16185.html	



【作品講評】

- ・ 表紙のENIWAの「A」部分に掛けた写真の扱い方など、編集者の吸収力を感じる。表紙から巻末まで力量の確かさを感じる。
- ・ 「ガーデンフェスタ北海道2022（全国都市緑化フェア）」開催地となるに至る花のまちの歴史をまとめた文章が秀逸。一過性のイベントではなく、歴史を踏まえ、かつ、未来への礎石ともなることが読者に伝わる意義ある特集だ。「新恵庭市史」こぼれ話では、貴重な当事者インタビューで恵庭事件を取り上げ、地域の歴史継承の観点からも価値ある企画である。

(2) 町村の部

①作品名	広報うらかわ 10月号 (令和5年9月25日 浦河町発行)	
②連絡先	浦河町企画課 電話：0146-26-9012	
③ホームページ	https://www.town.urakawa.hokkaido.jp/gyosei/administration/?content=2128	



【作品講評】

- ・ 全ページで濃いグレーと薄いグレーの使い方が上手で目にやさしく効果的。レイアウトが上手く、編集力を評価する。
- ・ 多文化共生の実相が写真でよくわかる。文章は事実関係をしっかり押さえ、起承転結を考えたお手本のような文章。町の支援体制がよく理解できた。

(2) 町村の部 (続き)

①作品名	総合情報誌すまいる 11月号 (令和5年11月10日 芽室町発行)	
②連絡先	芽室町政策推進課 電話：0155-62-9721	
③ホームページ	https://www.memuro.net/administration/kouhou/smile/2023/mile_r511.html	



【作品講評】

- ・ 多種多様の情報を手慣れたレイアウトでうまくまとめる技術を評価する。
- ・ 新嵐山スカイパークを巡る真摯なやりとりに深い感銘を受けた。辛辣な町民の声をそのまま掲載している勇氣に感服。風通しのよさがわかる広報誌編集である。

①作品名	広報びほろ 10月1日号 (令和5年10月1日 美幌町発行)	
②連絡先	美幌町町民生活部町民生活課 電話：0152-77-6538	
③ホームページ	http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/docs/2012040300017/	



【作品講評】

- ・ DXをめぐる、行政サービス、農業、教育、起業と多方面からの実践とリアルな声を取材し、まとめた貴重な企画。文章は非常にこなれており、力量の高さが伺える。

①作品名	広報東神楽 8月号 (令和5年7月27日 東神楽町発行)	
②連絡先	東神楽町まちづくり推進課 電話：0166-83-2113	
③ホームページ	https://www.town.higashikagura.lg.jp/docs/13735.html	



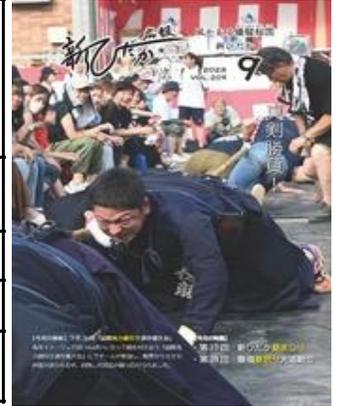
【作品講評】

- ・ 内容に読みごたえがあり、「未来ネクスト企画」が良い。
- ・ みらいポストの意義がよく理解できた。亡き父からの言葉や、生まれたばかりのわが子を抱いて書かれた手紙から10年という時間の重みを実感させられた。ナチュラルで清潔感漂う誌面デザイン、簡潔にして情熱のこもった文章もすばらしい。

2 広報写真

(1) 一枚写真

①作品名	広報新ひだか 9月号 表紙 (令和5年8月25日 新ひだか町発行)	
②連絡先	新ひだか町総務部企画課 電話：0146-49-0269	
③ホームページ	https://www.shinhidaka-hokkaido.jp/koho/1.html	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> 真剣な綱引きの臨場感がよく伝わる。脇役の配置も良い。 国際馬力綱引き選手権大会で選手の眉間に盛り上がったシワが熱戦を、観客の表情が現場の歓声を伝えている。 		



①作品名	広報ねむろ 11月号 表紙 (令和5年11月1日 根室市発行)	
②連絡先	根室市総務部総務課 電話：0153-23-6111	
③ホームページ	https://www.city.nemuro.hokkaido.jp/lifeinfo/kakuka/soumubu/soumu/kouhoukoutyou/4_1/10881.html	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> ピンと立つようなサンマ、手をつ込んだ瞬間にはね上がる氷、サンマの新鮮さと海の幸への喜びが鮮烈に表現されている。 笑顔も良く、秋刀魚に動きがあり、素晴らしいタイミングである。 		



(2) 組み写真

①作品名	広報仁木 10月12日号 2～3ページ (令和5年10月12日 仁木町発行)	
②連絡先	仁木町総務課 電話：0135-32-2511	
③ホームページ	https://www.town.niki.hokkaido.jp/section/somuka/immd6i000007xzs.html	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> 好感が持てる、参加したくなるような明るくのびのびとした駒が多く、構成が上手い。 フルーツの色合いと田園風景、マラソンの笑顔、ヘルシーな楽しさあふれるページに組み合わせの妙が楽しめる。 		



(2) 組み写真 (続き)

①作品名	我が郷土（広報とうま）9月号 3～4ページ （令和5年9月10日 当麻町発行）	
②連絡先	当麻町情報発信戦略課 電話：0166-84-2111	
③ホームページ	http://town.tohma.hokkaido.jp/kouhou/	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> 4枚ともベストタイミングで捉えており、最後の花火は見事である。 黒い地色に配した写真から祭りが浮かび上がる。余韻のある秀逸なフォトストーリーが構成されている。 		



3 映像

①作品名	百笑の会の挑戦①巨大バルーン（風船）を使ったかまくら作りにチャレンジ！	
②連絡先	愛別町総務企画課 電話：01658-6-5111	
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=X04caVQ29TQ	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> 百笑の会の挑戦はドラマチックで、本当におもしろかった。最後に重機が登場するのはさすがと言うしかない。風船を利用したかまくら作りの手順のイラストはおしゃれでセンスがあり、圧倒された。 参加者の悪戦苦闘に拍手。 		



①作品名	PAINTING OUR DREAMS OF BIBAI 2023	
②連絡先	美唄市総務部美唄デザイン課 電話：0126-63-0113	
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=4aWwv66M0IA	
【作品講評】		
<ul style="list-style-type: none"> 年齢も職業も多様な背景を持つ発言者たちの言葉をつなぐことで、新しい世界、目指すべき未来像が見えてくる手法が斬新で、言葉の切り取り方が秀逸である。 人口減少に立ち向かう若者の新たな取組が素敵。 		



第70回北海道広報コンクール審査会設置要領

(名 称)

第1条 この会は、第70回北海道広報コンクール審査会（以下「審査会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 審査会は、本道の自治体等における広報活動の奨励を目的として令和5年度に広報広聴技術研究会実行委員会（以下「実行委員会」という。）が実施する北海道広報コンクールの応募作品の選考を行うことを目的とする。

(職 務)

第3条 審査会は、次の業務を行う。

- (1) 応募作品の審査（予備審査・本審査）に関すること。
- (2) 全国広報コンクールへの推薦作品の選考に関すること。
- (3) その他審査会の目的を達成するために必要な事業に関すること。

(審査会の構成)

第4条 審査会は、次の委員（6名以内）により構成するものとする。

審査委員長 実行委員会委員長
審査委員 実行委員会副委員長及び専門分野で知見を有する者の中から実行委員会委員長が委嘱した者

(任 期)

第5条 審査委員の任期は、委嘱の日から第3条に定める職務が終了するまでとする。

(審査委員長の職務及びその代理)

第6条 審査委員長は、審査会を代表し、会務を総括する。

- 2 審査委員長に事故のあるときは、実行委員会副委員長がその職務を代理する。

(審査会)

第7条 審査会は、審査委員長が招集し、審査委員の過半数の出席により成立する。

- 2 審査会の議事は、出席者の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは審査委員長の決するところによる。
- 3 審査会に審査委員が出席できないときは、審査委員の所属する機関または団体等から代理の者を出席させることができる。

(秘守義務)

第8条 審査委員は、審査会の内容又は職務上知り得た秘密を保持しなければならない。

- 2 審査方法については、別途審査要領により定める。

(責 務)

第9条 審査委員は、選考に際して公平・公正でなければならない。

(庶 務)

第10条 審査会の庶務は、実行委員会事務局が行う。

(雑 則)

第11条 この要領に定めるもののほか、審査会の運営に関し必要な事項は、実行委員会委員長が別に定める。